

# こもれび・komorebi・木漏れ日

# 木もれ日

総合建設  
株式会社 日向建設 ひゅうがけんせつ  
〒247-0061 神奈川県鎌倉市台1-10-4  
http://www.hyuga.biz どこまでが夢ですか  
TEL 0467(47)5454 FAX 0467(44)0303

## 新春特集

新年あけましておめでとうございます。  
今年も皆様にとりまして良い年でありますように、心からお祈り申し上げます。建築を取り巻く環境が大変厳しい中、構造計算の偽装問題や悪質リフォーム事件など、絶対あってはいけない事が現実の事として明らかにされています。日向建設は、本年も一步一步誠実に本業に取り組んでいきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



## 終の棲家

### 昭和中期の趣のある家の再生

鎌倉市岩瀬 W 邸

### ◆昔ながらの家は地震に弱いのか？◆

昭和中期に建てられた家ですから、現在の基準から見れば当然地震に対して弱い家ということになります。どのような対策をとればいいのか。耐震補強工事をしっかりとすれば、安全な家に生まれ変わります。1996年に建築基準法の一部が改正されましたので、その基準にあわせた施工をしました。



杉板の矢羽根なぐり加工



### ◆天井裏に断熱材◆

この建物は平屋建てですが、天井裏がとても広く、もう一軒作れるのではないかと位空間がありました。全体の高さは普通の家の二階屋根くらいあります。暖かさは、天井から一番逃げっていくので、断熱材をしっかり敷き詰めました。

断熱材

### Pointo1

基礎を丈夫で強固なものにする。ピルの基礎のように耐圧盤をつくり、元にある布基礎と一体化しました。鉄筋も13mmを150ピッチで井桁に組みました。布基礎には、穴をあけアンカーボルトを打ち込み鉄筋と繋ぎまし

### Pointo2

基礎と柱の緊結。耐圧盤から取り出した16mmのボルトにホールダウン金物を取り付け、柱と一体化します。これは地震の時に土台から柱が抜けないようにする為です。

### Pointo3

体力壁を作ります。筋違が入っていても、しっかりと止められていなければ役に立ちません。専用金物をビスでしっかり固定します。この現場は、全部構造用合板で体力壁を作ります。

### Pointo4

建物全体のバランスを考えます。南側から差し込む暖かい太陽の日差しは、何ともいえないものですが、開口部を大きくしすぎて、壁が無くなってしまっている家もあります。寒い時期に窓から暖かい熱が逃げるのを防ぐ意味からも、開口部を少なくする方向に向かっているのが現状です。



### ◆24時間快適暖房◆

蓄熱式床暖房を取り入れました。(耐圧盤の上に断熱材を敷き、お湯を通すパイプをコンクリートの中に埋めました)今回は、普段使うことが少ない和室二部屋には施工しませんでした。輻射熱の気持ち良さは、体感してみないとわかりません。足の裏からだんだんと暖かさが伝わっていき、体の芯から暖まります。室温は17~18度で充分です。20度を超えるとかえって暑いくらいです。



### ◆自然素材をふんだんに◆

玄関の引戸は、尾州の檜にしました。一般的に尾州という赤と言われますが、色味は黄色です。しかし、光に透かすように見ると淡いピンク色がかって見えます。尾州が赤と言われる所以なのでしょう。床は、黒御影石の本磨きにしました。御影石は、黒が濃ければ濃いほど希少価値があります。腰板は、杉の赤身の無節を使用しました。色・柄共にとても綺麗です。玄関外の小壁は杉板を矢羽根になぐり加工したものです。手間の掛かっている分、趣があります。長谷の大仏様の裏玄関の小壁と同じような雰囲気です。壁紙は土佐和紙を使用しました。普通和紙と違い裏貼りがないので、下地処理に手間が掛かっています。下地全面に和紙と同じ色で下地処理をしてから和紙を貼るので経年による色変わりが出ません。継ぎ手は、重ね貼りにしました。



広いのに足元からポカポカ



## 黙仙寺本堂 大流れ(下屋)完成

私の菩提寺である黙仙寺の本堂の北側に、桶置場と外流し(水汲み場)があります。東西の庇の出方が短い為、下見(外壁)がだいぶ傷んでいました。外流しも雨の日など濡れてしまい、使い勝手が悪かったので、庇を大きく張り出すように大流れを作ることになりました。細工は、昔ながらの工法(釘を使わず、クサビ・木栓)で行ないました。柱と柱の間の格子は、開山当時から本堂で使われていた障子戸を再利用しました。材料が良かったので、とって置いたものです。屋根は銅板でも良いのですが、日本瓦との相性が悪く、酸性雨の影響で穴が開いてしまうことが多いので、カラスステンレスにしました。柱は檜の上小節・梁は杉・タル木はピーラ・野地板は杉板・天井はともとも大きな木小舞天井に仕上がりました。

自然素材はいいですね。古い物と新しい物とが、うまい具合に調和した雰囲気は、本当に美しいですよ。



### お店紹介

### 小沢生花店

本 店 TEL 0467-46-2408  
鎌倉市大船1-16-4 FAX 0467-43-5535  
フラワーオザワ(ルミネ 2F) TEL 0467-48-5187

仲通りの奥にある生花店。古くから生け花のお稽古用のお花を取り扱っている先生御用達のお店です。もちろん切花や鉢植えのお花も沢山あります。見るからに江戸っ子気質のご主人と優しい奥様が迎えてくれます。



(小沢ビルは平成1年日向建設で施工)

### ■編集後記

皆様、どのような新しい年をお迎えでしょうか？  
昨年の暮れは、耐震偽装問題で大きく揺れ動きましたね。弊社では、日ごろ耐震補強工事を皆様に訴え、施工を進めていますのに…なんてこった！です。一般的に物の値段は生産している側から決めていくものですが、色々な要素で買い手側から“いくらなら買うよ”と経済取引が始まります。大量生産品や生鮮食料品・流行品ならいざ知らず、一つ一つ手作りするような物まで買い叩くような事をすれば、どこかで歯車が外れてしまうでしょう。耐震偽装されたマンションはかなり安く買ったようですが、解体・建て直しをするととても割りに合わないのが実状です。安い物には、必ず訳があると考えてみると良いのでは……作り手も、買い手もお互いに誠意を持って取り